計画のスローガン

この計画では、「地球にやさしい環境先進都市をめざして」を全市のスローガンとして掲げています。

そして、第7次総合計画の一部門計画である環境基本計画のスローガンを達成することによって、総合計画のめざす都市像である「市民とともに育む環境首都・安城」の実現を図ります。

キーワードは市民・市民団体・事業者・市の協働(パートナーシップ)!

地球環境 —自ら進んで地球環境を守るまち

No.	施策名	成果指標名	単位	現状値 (2004年)	目標値 (2010年)
14	市の率先行動の実施と地球温暖化対策実行計画の推進	市施設から排出される温室効果ガスの総排出量(二酸化炭素換算値)削減率	%	1.6	6
15	太陽光発電設備の積極的な活用の推進	市内における太陽光発電設備容量	kW	1,204	2,100
16	環境配慮型公共工事の推進	公共工事で使用する砕石及びアスファルトコンクリートの再生利用率	%	93	95
		公共工事で発生する土の再利用率	%	95	95
		公共工事で使用する非熱帯木材併用型枠、金属型枠及びプラスチックの代替型枠の使用、並びに転用型枠の使用率	%	62	65
		公共工事で使用する再生品(あいくる材)の利用率	%	96	98
		公共工事の施工における環境配慮型建設機械の使用率	%	—	90

協働 —みんなが参加し、考え、行動するまち

No.	施策名	成果指標名	単位	現状値 (2004年)	目標値 (2010年)
17	地域協議会「(仮称)エコネットあんじょう」の設置	地域協議会設置数	協議会	0	1
18	市民による省エネ行動等エコライフの推進	エコライフキャンペーン実施回数	回/年	0	1
		エコライフコンテストの実施	実施	未	済
19	環境アドバイザー派遣の推進	環境アドバイザー派遣回数	回/年	7	30
20	学校教育における環境学習機会の充実	展示点数	点/年	0	50

計画改定の基本方針

- ・市民との協働による計画づくりを推進するために、広報での施策提言の募集や環境アドバイザーへのグループインタビュー、まちかど座談会など意見交換を実施。
- ・基本的な枠組みは変更せず、具体的施策を中心に見直し。
- ・具体的施策は基本的に成果を数値で表示。
- ・計画を効率的に推進するため、新たに20の重点推進項目を設定。

重点推進項目(リーディングプロジェクト):20項目

共生 —かがやく水の恵みをうけて、花と緑のあふれるまち

No.	施策名	成果指標名	単位	現状値 (2004年)	目標値 (2010年)
1	農業の有する多面的な機能(自然環境の保全、水源のかん養、良好な景観の形成等)を発揮できる農地の保全	農地面積	ha	4,033	3,880
2	緑道の整備・拡充	緑道(自転車歩行者道)の整備	km	26	27
3	電線類の地中化促進	電線類地中化道路整備延長	m	1,240	2,800
4	市民等による道路、公園等での環境保全活動の支援	アダプト団体数	団体	14	35
		緑を守る団体数	団体	115	125
5	都市計画道路における街路樹の整備	桜井地区土地区画整理内都市計画道路の街路樹整備	m	0	2,000
6	市民との協働による公園整備	ワークショップ形式による公園整備数	か所	19	24

循環 —健康で快適なくらしを未来に引き継ぐまち

No.	施策名	成果指標名	単位	現状値 (2004年)	目標値 (2010年)
7	公共下水道の普及率向上及び接続促進	下水道普及率 下水道水洗化人口	% 人	54.1 73,500	71 103,000
8	生活排水等に関する監視、指導及び実践事業	実施町内会数	町内会	17	23
9	レンタサイクルの推進	レンタサイクル事業のサイクルポート数	か所	3	5
10	エコサイクルシティ計画の策定	明治用水緑道の利用者の割合	%	—	22
11	ごみの減量化に向けたライフスタイル変革のための啓発	1人1日あたり家庭系ごみ排出量	g	739	640
12	環境保全型農業への転換支援及び情報提供の充実	農薬の使用量の削減率	%	27.2	30
		化学肥料の使用量の削減率	%	25.7	30
13	地産地消の推進	給食における地元農産物の購入割合	%	40	40